

令和6年能登半島地震から考える、被災後の支援と受援

近代で最大クラスの直下型地震となった令和6年能登半島地震。多くの犠牲者、地盤の被害、ライフライン復旧の困難など大きな被害をもたらした状況下で、被災地内外の様々な担い手が役割を果たそうと努めてきましたが、一人ひとりの暮らし・地域の復旧・復興は困難な状況が続き、今も生活復興を模索している段階です。

南海トラフ地震の危機が言われ、各地で甚大な災害が相次ぐ中、こうした状況はよそ事ではなく、鳥取県内でも改めてあり方を考える必要性があります。今回の災害対応に関わったそれぞれの立場から、住民・地域の状況や対応について話題提供をしていただき、支援・受援のあり方などを参加者で共有したいと思います。

各地の取り組みや思い、課題を持ち寄り、災害時の支援とふだんの取り組みについて語り合しましょう！

2024年10月5日(土)
13:30~16:30

- ところ 日野町山村開発センター大集会室
(鳥取県日野郡日野町根雨130-1 JR根雨駅正面、日野町役場敷地内)
 - 参加費:無料
 - 会場定員:100名
(定員を超えた場合、お断りすることがあります)
 - 対象:
自治会・自主防災組織役員、民生児童委員、老人クラブ、福祉推進員、地域団体・ボランティア団体、区市町村社会福祉協議会役員、区市町村職員、など関心がある方どなたでも
- ★人数把握のため、裏面の申込書で参加申込をお願いします

併催!

鳥取県西部地震展示交流センター
企画展示「鳥取県西部地震・中部地震、
能登半島地震の被害と支援活動」展

- 主催:日野ボランティア・ネットワーク、鳥取県、日野町、日野町社会福祉協議会

<プログラム>

- 開会・開会挨拶(13:30-13:35)
- 全体会・分科会

テーマ: 令和6年能登半島地震から考える、被災後の支援と受援

- 1)【民間による支援とたすけあい】地域で見られた助け合いや近所の力、「受援」(=お互いさま)の重要性
- 2)【災害時の福祉専門職による支援の位置】被災した要配慮者・介護者や福祉施設等で起こった課題と福祉的支援と受援
- 3)【行政による支援】行政支援・外部からの応援の状況と特に重要なポイント、県内の取り組み

◇全体会(13:35-14:15) 話題提供:能登半島地震の経験も踏まえながら現状と問題提起

- 1)【民間による支援とたすけあい】山下弘彦(日野ボランティア・ネットワーク)
- 2)【災害時の福祉専門職による支援の位置】栗原英文さん(FEEL Do)
- 3)【行政による支援】森岡潤一(鳥取県危機管理部危機管理政策課)

◇分科会(14:25-15:35)

テーマごとに分かれ、どのような取り組み・備えが必要か、話し合います。

※場合により人数調整させていただきます(途中、休憩)。

◇全体会(15:45-16:15)

分科会の内容を全体で共有します。

■総評・閉会挨拶(16:15-16:25)

◇申込み・問合せ先: ひの防災福祉コミュニティセンター/日野ボランティア・ネットワーク

〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨130-1 TEL&FAX:0859-72-2220

E-mail: hinovnet@sea.chukai.ne.jp URL: http://www.hinovnet.org/ 【開館時間】9:00~17:00(休館日:土・日曜日、祝日)

FAX送信先

ひの防災福祉コミュニティセンター／日野ボランティア・ネットワーク 行
(0859-72-2220) 申込締切:10月2日(水)13:00まで

★下記の内容をメールで送信いただいても結構です ⇒ hinovnet@sea.chukai.ne.jp

鳥取県西部地震から24年フォーラム

令和6年能登半島地震から考える、被災後の支援と受援

*この申込書は、当日会場にお越しいただける方の人数を把握するためのものです。

*ご記入いただいた内容は、今回のフォーラムご出席確認以外の用途には使用しません。

お住まいの 市町村	市・町・村	所属団体等	
(代表者の方の) お名前		参加人数	人
ご連絡先 電話番号			
備考			

※該当しない箇所は、記入しなくても結構です。